

「Macintosh によるパワー・プレゼンテーション」

東京大学助教授・手術部 齋藤 英昭 著

筑波大学講師・臨床医学系外科学

岩 川 眞由美

私の所属する小児外科学会総会が、今日終わりました。横浜の新名所、パシフィコで行われた学会での発表は、マック全盛でした。昔は手書きあり、薬屋さんに頼んだ写植ありで、きれいなスライドを出してくる施設は限られたものでした。最近違います。マック大はやりで、カラースライドオンパレードです。内容より、スライドの美しさに感心することもあります。なかでも、なんか若い人の発表のほうがきれいみたい。作り慣れた感じ。去年はウィンドウズの追撃もあり、いろいろありましたが、学会発表用スライドに関してはやはりマックに軍配が上がったようです。

そこで、この本の登場となるわけです。まずは、普段、マックを使っていないけど、“これからの学会はマックだよ。マック買おう”って始めた方には最適です。“コンピュ

ーターって苦手だよ。手で書いたほうが早い”とか、“せいぜい使ってワープロだよな”とか、“説明書読まないと、恐くてクリックできないよ”なんて、すなわち、ファミコン世代の1つ前のおやじ世代に最適です。この本の第2章では、学会発表に使う Persuasion, Delta Graph, Photoshop などのソフトの使い方がスライド作成に沿って解説されています。実際、スライドを作っている、パターンで作っていますものね。この本の指示通りに2~3回作ればこっちのものです。実際のマックの画面と同じ絵の表示どおりに指示が出ています。

更に、第1章では、効果的なプレゼンテーションの準備についても触れられています。特に、“グラフ作成の基本”という項目は、私が自分なりに長年かかって獲得したノウハウと全く同意見の集大成です。この

点で若いスーファミ世代の医師たちのバイブルとしても最適です。

おやじ、若者ときて第3番目のターゲットは、“今や国際学会が活躍の場だよ”という世代。OHP、ビデオ、ポスターとあらゆる場面でのパワフルな発表の仕方が第3章では要領よく述べられています。とても勉強になりました。こういういわゆる実用書は、書き手に負うところが大です。著者の齋藤先生を存じ上げませんが、是非一度発表をお聞きしてみたいものです。どの世代の医師にとっても、待ち望んでいた1冊と言えましょう。

最後に一言。どんなに発表形式が優れていても、内容のない発表はすぐ底が割れることをお忘れなく。

● B5 頁238 図194 定価4,120円
(税込) 円400

——医学書院 刊(☎ 03-3817-5657)